



江戸川学園取手中・高等学校

豊かな心と規律が未来のリーダーの礎

茨城発。総合人間力で世界を牽引する人材へ

「規律ある進学校」の教育方針の下、毎年東大の二桁合格や医学部に多くの生徒を輩出し続ける同校。今年度から付属小学校を設立し、茨城初の12カ年一貫で江戸取流教育がスタートした。次世代のリーダーを育てるという明確な志を土台に、生徒の志望に合わせた授業を提供するだけでなく、6年間の道徳教育や規律を重視した学校生活で、心力・学力・体力を三位一体ではぐくみ、社会に出て活躍の底力を培っている。



授業に陶芸を取り入れ豊かな心と設計を形にする力をつける



高3の化学。東大で出された入試問題の実験をする



赤組団長、五十嵐君



一日を戦い抜いた各色の団長、女団長、そして旗手



新妻姉妹



全国大会出場の子アリーダー部が華を添える



規律をもって臨む開会式



今年度設立の小学校児童が見学に。生徒も「かわいい!」と大歓迎

日本人だからこそその「和のリーダーシップ」

これから世界に求められるのは、「和のリーダーシップ」です。相手をねじ伏せる力ではなく、一人ひとりの声に耳を傾け状況を調整し、新しい提案をするという日本人だからこそ発揮できる力をはぐくむのが江戸取の教育です。まっすぐに前を見据え語るのは竹澤賢司校長だ。その核となるのが、規律と心の教育。「リーダーに必須の要素は本人が自立して初めて備わるものです。そして、自立に必要なのは規範や規律。基本の型を最も鍛錬した者が勝利をつかむ日本の武道のように、身なりや時間の厳守、あいさつなどの規律(II型)が身に付いてこそ、望む未来へと歩みを進められるのです」。実際に今年度の東大合格者の9割が皆勤賞だったそうだ。

一方で、心を育てるのが6年間の道徳教育だ。自由と責任についてなど、正解のない問いを教師が投げかける。授業後、生徒は大学ノート1ページにぎゅっと考えや感想を書き、教師は全員に1ページの返事を書いて返す。「初めは自分の真意を表現できない生徒もいますが、一人ひとりの言葉から教師が生徒の言いたいことを見つけ、良い点・追求すべき点を伝える。この心のキャッチボールにより、自分の考えを整理し表現できるよつになります」。だからこそ、江戸取の教師は通り一遍の言葉を返さない。大人としてごまかさなない姿勢を貫き、必要なら愛情をもって叱る。「こんな大人になりたい」と憧れの存在になることで、生徒自身の規範意識を育てていくのだ。

友達はライバルじゃない。仲間なんです。

そんな教師の姿勢が毎日の学校生活を充実させる。姉妹で同校に通う新妻詩野さん(中3)と楠望さん(高3)は、「毎日かたまりなく楽しい!」と口をそろせる。中等部の生徒会長を務める詩野さんは「生徒会に入ろうなんて考えてもいませんでしたが、担任の先生が私の性格を見抜き勧めてくれたんです。メンバーと協力し合う行事運営は、大変ですがとてもやりがいがあります。立候補する勇気をくれた先生に感謝しています」。姉の楠望さんは、医者に心臓の病気だった祖父を救われた経験から、高等部で医科コースを選択。心臓外科医を目指している。「医学部入試に特化したテキストなど、勉強面のサポートも充実していますが、何より夢を叶えるために必要な、人としての土台を作ってくれるのが江戸取です。病院で患者さんの胸の音を聞いたり、現役の先生から心臓手術の動画を見せてもらったり、付け焼き刃の知識じゃなく、技術面や倫理面など医療のさまざまな側面に向き合う機会があります。そして夢に向かってがんばっているみんなと一緒に頑張ることが、心から勉強が楽しい。江戸取では、クラスメイトがライバルじゃなく仲間なんです」と力強く話す。

江戸取に流れているのは、上昇気流のような活気。目指す道は違っても、一人ひとりの努力を全員が受け止める土壌があるのだ。それが表れていたのが中高合同、四色縦割りで行う体育祭。優勝を勝ち取った赤組団長の五十嵐正君は高校からの入学生だ。「何となくですが、これまで「団長は中入生がやる」という雰囲気があったので、そんな伝統を自分が変えてやる! という意気込みで立候補しました。みんなに楽しんでもらうことを第一に考えたので、応援合戦の練習も「来てくれてありがとう」と一人ひとりに声をかけ、チームのみんなも自分を信頼して付いて来てくれました。結果だけじゃなく、「すごく楽しかった! 赤組で本当に良かった!」と言ってもらえた。それが何よりうれしかったです」と応援でかすた声で話してくれた。各チーム500人以上が一丸となり全力を尽くした。どのチームの団長からも真っ先に「チームのみんなが支えてくれたこと、一緒にがんばれたことが一番の思い出です」という言葉が出てくる。心を表すことで人を動かせるのが江戸取生なのだ。多士済々の人材を輩出し続ける江戸取の真髓がそこにあった。



70名以上の実行委員を取りまとめた生徒会役員



竹澤校長